

# YKK AP 株式会社 黒部荻生製造所

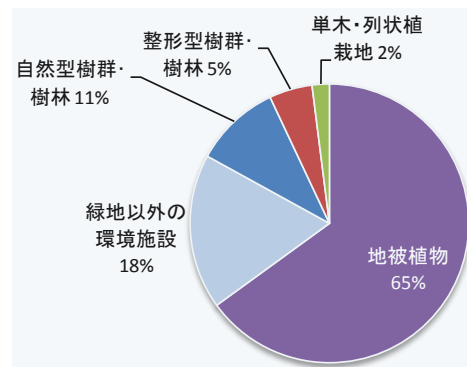
工場所在地 〒938-0801  
富山県黒部市荻生 1 番地

主たる業種 金属製品製造業  
(主要製品) (住宅用玄関ドア、窓、シャッター等)

ウェブサイト <https://www.ykkap.co.jp/>

## 緑地等の種別面積割合

(緑地等の総面積 : 98,378m<sup>2</sup>)



## 工場緑化のキャッチフレーズ

### 人に誇れる美しさと環境性

輝ける将来を予感させ、同時に大規模開発者の責任として十分に環境に配慮し、社会的に誇れる施設とする。

### 社員満足度の高い快適性

人が働き、生活する環境を重視し、建物内外に渡り魅力溢れる空間創造を行い、生産性及び社員の定着率向上、新規人材確保への貢献を促す。

## 緑化等の概要

「社員満足度の高い快適性」、「人に誇れる美しさと環境性」等を基本方針として、周辺環境や景観との調和を図るように整備している。調整池付近には、周囲の屋敷林とともに黒部川と宮野山を結ぶ「生き物の道」を形成するビオトープの役割を期待し、「水」と結びついた高木林を配置している。

黒部荻生地区の一員として「地域に根差した工場」作りを進めてきた。周辺の水田及び屋敷林で構成された風景に合わせて、敷地周辺部分は芝生を中心とした広い傾斜緑地とし、その中に高木と塊状の低木を距離を開けて配置し、視線を遮らない開放感のある緑地とした。

生態系の維持にも配慮し、敷地内部の調整池内に「水」と結びついた高木林を設置し、周囲の屋敷林とともに、黒部川と宮野山を結ぶ「生き物の道＝生態学的コリドー」を形成する「生き物の島＝ビオトープ」としての役割を企図して整備を実施。

当敷地は水田を造成して建設用地としており、その地面としての保水、涵養能力を継承するため、駐車場には浸透性アスファルトの採用、雨水排水溝には浸透性トレンチ、雨水幹線排水路に浸透貯留槽を設ける等、敷地内に降った雨の地下への涵養と水資源の保全を意識した整備を実施。

敷地内の外構施設として点在する玉石積みは、黒部川河川敷に見られる玉石積をイメージしている。材料となる玉石は敷地の造成及び建物基礎掘削工事にて掘り出された敷地内の玉石を再利用することで、景観の調和と環境に配慮した整備を実施。

緑化以外の取り組みとして、建物施設整備にあたっては、地球環境への配慮として、「小エネ＝ローエネルギー」の考え方を採り入れ、建物の断熱化、省エネ設備の導入に加え、地域特有の「あいの風」を積極的に取り込むことで冷房機器の稼働期間の短縮や、「黒部川扇状地の伏流水」を利用した水冷ヒートポンプ空調の採用や太陽光による屋光利用等自然エネルギーの活用を積極的に進めることで事業活動による消費エネルギーの削減にも努めている。既設の生産建屋においては「エネルギーの見える化」と「高効率設備への更新」を進めソフトとハードの両面からのアプローチで消費エネルギーの低減を進めている。2016年4月に開設したYKK AP R&Dセンターにおいては、一般的なオフィスビルと比較して50%以上の省エネを達成している。

YKKグループの一員として、「黒部市企業の森づくり」や「とやまエコキッズ探検隊」への社員の参加、従業員による周辺清掃活動「クリーン大作戦」の実施、黒部市にて進めている公共交通整備においても敷地内パブリックスペースにバス停を設置し、地域住民の利用しやすい整備を行う等地域と一体となった製造所運営を進めている。

## 緑地のようす



低木と広くなだらかな傾斜により圧迫感を軽減した敷地正面緑地



開放的でリラックスできる空間として整備した各建物が向かい合う敷地中央部緑地





芝生を中心とし敷地奥まで見通せる正門から奥につながる道路



黒部川と宮野山を繋ぐ「生物の回廊」を形成した調整池内緑地



周辺道路に面して高木と芝生で整備。植栽時幼木も成木に成長



敷地周辺部を芝生で幅広く整備し、一部遊歩道として地域に開放

## 力を入れている取り組み



光、風、水の自然エネルギーの有効活用を組み入れた施設整備「YKK AP R&D センター」



年二回（春・秋）実施の地域清掃活動「クリーン大作戦」